


国立国会図書館書誌データ作成・提供計画  
2026-2030（素案）  
概要・主な課題

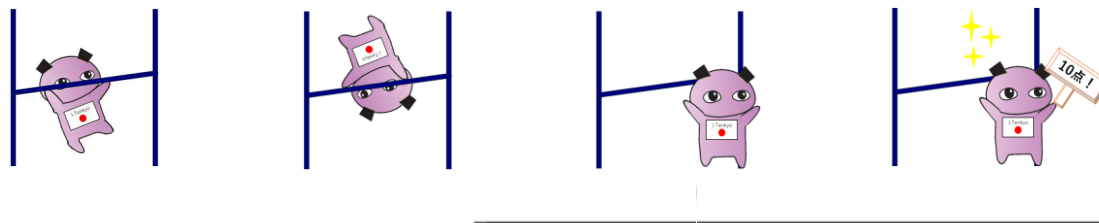
令和7年10月16日 令和7年度書誌調整連絡会議

国立国会図書館 収集書誌部  
主任司書 清水悦子



# 本日のテーマ：国立国会図書館書誌データ 作成・提供計画2026-2030（素案）

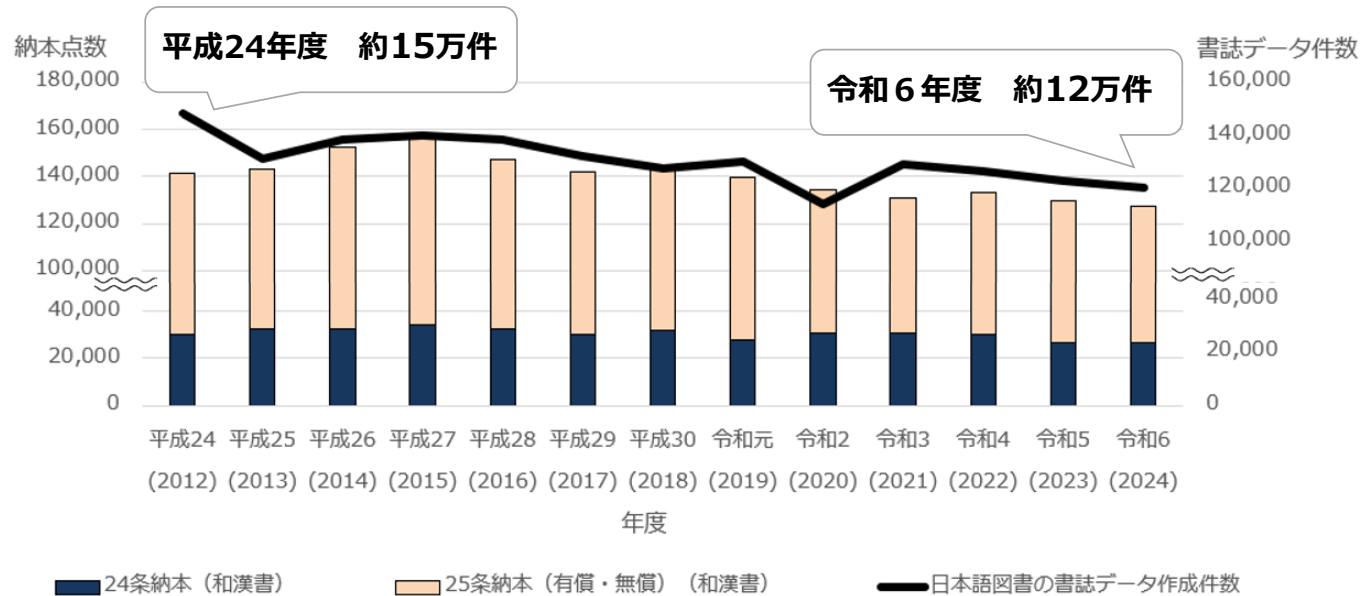
- 書誌調整連絡会議は今年25回目
- この会議で書誌計画をテーマとするのは、  
平成24（2012）年度以来 13年ぶり



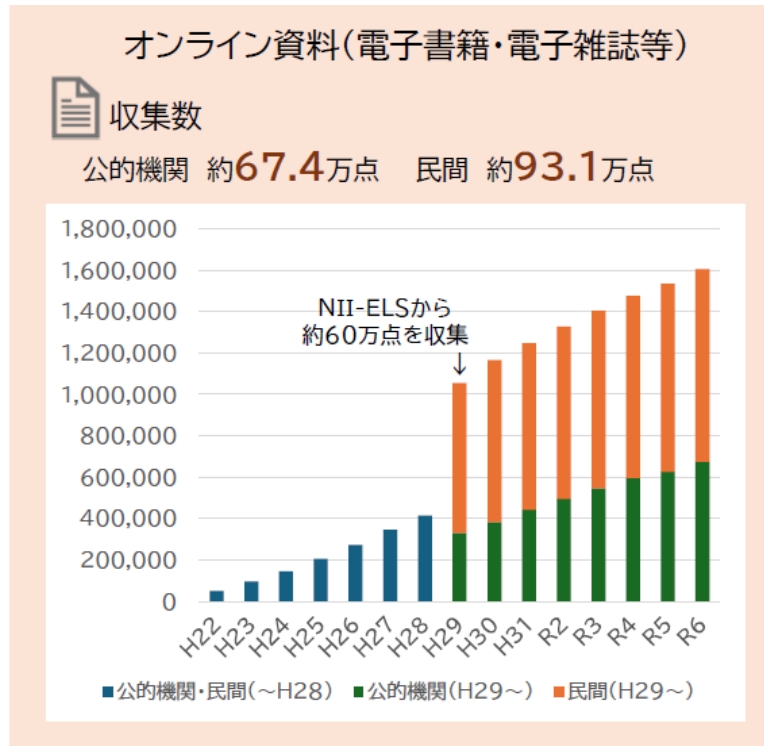
# 出版状況の変化

## 有体資料

納本点数と日本語図書の書誌データ作成件数の推移



## 無体資料（電子書籍・電子雑誌）



第40回納本制度審議会資料より

# 「デジタルシフト」から次のビジョンへ

ユニバーサルアクセスの実現

デジタル情報基盤の拡充

デジタル情報を駆使した高度な立

→ **令和8～12年度**のビジョンを検討中  
令和8年4月に公開予定

より深く広く。      より多く。      資料デジタル化      デジタル化資料

6  
デジタルで生まれた  
新しいかたちの資料を残す。  
デジタル化資料

3  
だれでも資料が使えるように。  
読書バリアフリーの  
推進

多様な文化資源をつなぎ、活かす。  
デジタルアーカイブの推進と利  
活用

・ 「紙と電子の収集・組織化の一元化」が一つの肝  
となる方向で検討中

# 計画の構成

「国立国会図書館書誌データ作成・提供計画2026-2030」  
(書誌計画2030)

- 1 ビジョンに基づく取組
- 2 書誌計画2025からの継続及び新たな取組
- 3 計画期間に限らない不断の取組



# 1 ビジョンに基づく取組

- 全国書誌の「拡張」
- 紙と電子の一元化



## 全国書誌の「拡張」

- 国立国会図書館法 第7条  
館長は・・・前期間中に日本国内で発行された出版物の目録を  
又は索引を作成し・・・
- 令和5年度書誌調整連絡会議  
和中幹雄氏  
「国立国会図書館は全国書誌サービスを提供し、一定の役割を  
果たしてきた。リニューアルされた国立国会図書館サーチは、  
広義の全国書誌サービスの提供といえる。」



## 全国書誌の「拡張」

- 単館の蔵書目録にとどまらない書誌データで構成  
「NDLに納本された資料」以外にも全国書誌に収録する必要

→ 網羅性、迅速性の向上

これまで培ってきた「信頼性」の担保にも留意

具体的なことは、これから検討していきます

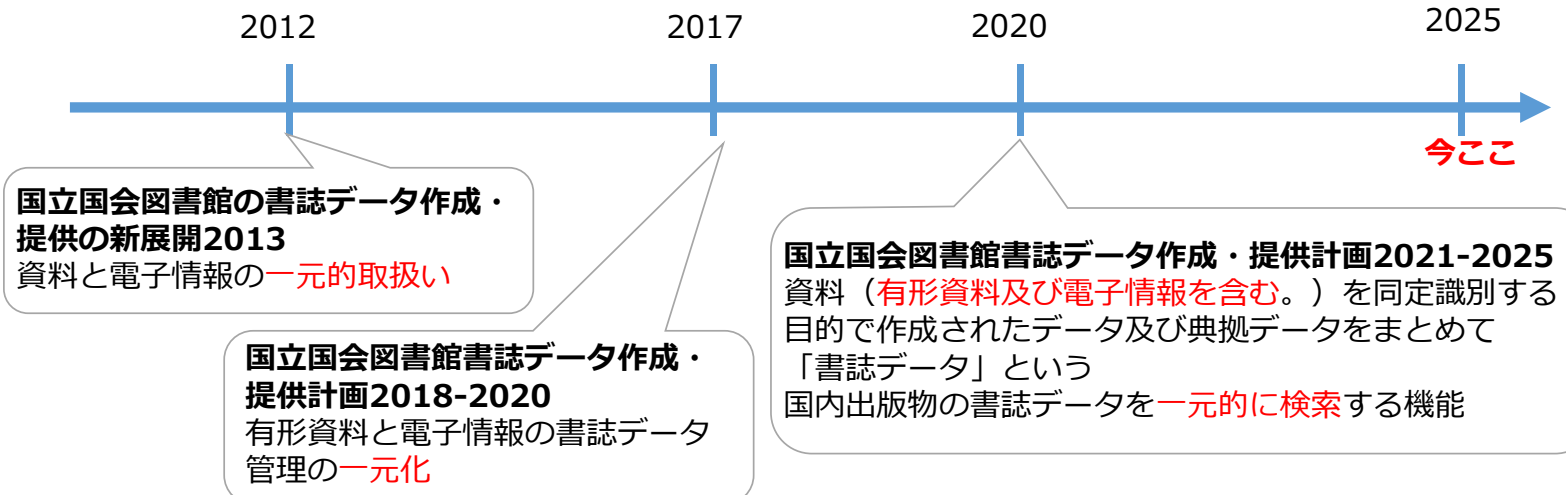


# 1 ビジョンに基づく取組

- 書誌計画2030もビジョンと同じく  
「紙と電子の一元化」が肝 の方向で検討中
- 「紙と電子の一元化」 実は、ずっと言っています



# 「紙と電子の一元化」遡ると



ずっと言ってます



# 「紙と電子の一元化」さらに遡ると



## 第1回書誌調整連絡会議

ネットワーク系電子出版物についても『日本全国書誌』へ掲載するような方向で、業務モデルを考えている

(中井電子図書館推進室長(当時))

## 国立国会図書館の書誌サービスの新展開 2009

検索の対象を、電子情報、外部にある情報にも広げる

## 書誌データの作成・提供の方針2008

電子情報資源も含めて、多様な対象をシームレスにアクセス可能にする。

ずー——————っと言ってます



# 紙等の有体資料と無体資料（電子書籍・電子雑誌）の現状

	有体資料	無体資料
作業体制	収集書誌部（一部の資料群を除く）	関西館電子図書館課
<b>別々の体制・業務フローで作成し提供</b>		
業務システム	収集整理システム	デジタルデポジットシステム
<b>別々のシステムでメタデータを作成 → NDLサーチで提供</b>		
作成規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NCR2018及び適用細則</li> <li>・ RDA</li> <li>※MARC提供が前提</li> </ul>	メタデータ作成ガイドライン (DC-NDL準拠) ※DC-NDL提供が前提
メタデータフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DC-NDL</li> <li>・ MARC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DC-NDL</li> </ul>
全国書誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国書誌データ</li> <li>・ JAPAN/MARC</li> </ul>	全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）



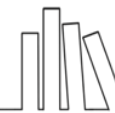
# 紙等の有体資料と無体資料（電子書籍・電子雑誌）の一元化

	有体資料	無体資料
作業体制	有体資料の一部資料群を除き、 <b>同じ体制・業務フロー</b> で作成→提供	
業務システム	収集整理システム	デジタルデポジットシステム
	2つの <b>システムの一元化</b> に向けた要件検討	
作成規則	NCR2018を基礎とし、BIBFRAME提供を前提とした紙と電子共通の規則、	
メタデータフォーマット	今後検討していきます	
全国書誌	提供	



# 典拠コントロールの一元化

- 有体資料と無体資料の共通の著作データを作成
  - 著作に対して著者名典拠リンクと主題作業
  - 典拠コントロールの範囲を効率的に拡充



# 令和6年度書誌調整連絡会議「国立国会図書館における典拠データ—これまでの拡充の取組と将来像—」抜粋

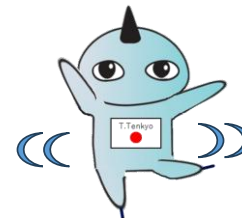
## 3. 将来像：次期書誌計画を見据えた選択肢 紙と電子のメタデータ一元管理：著作典拠の活用アイデア（2）

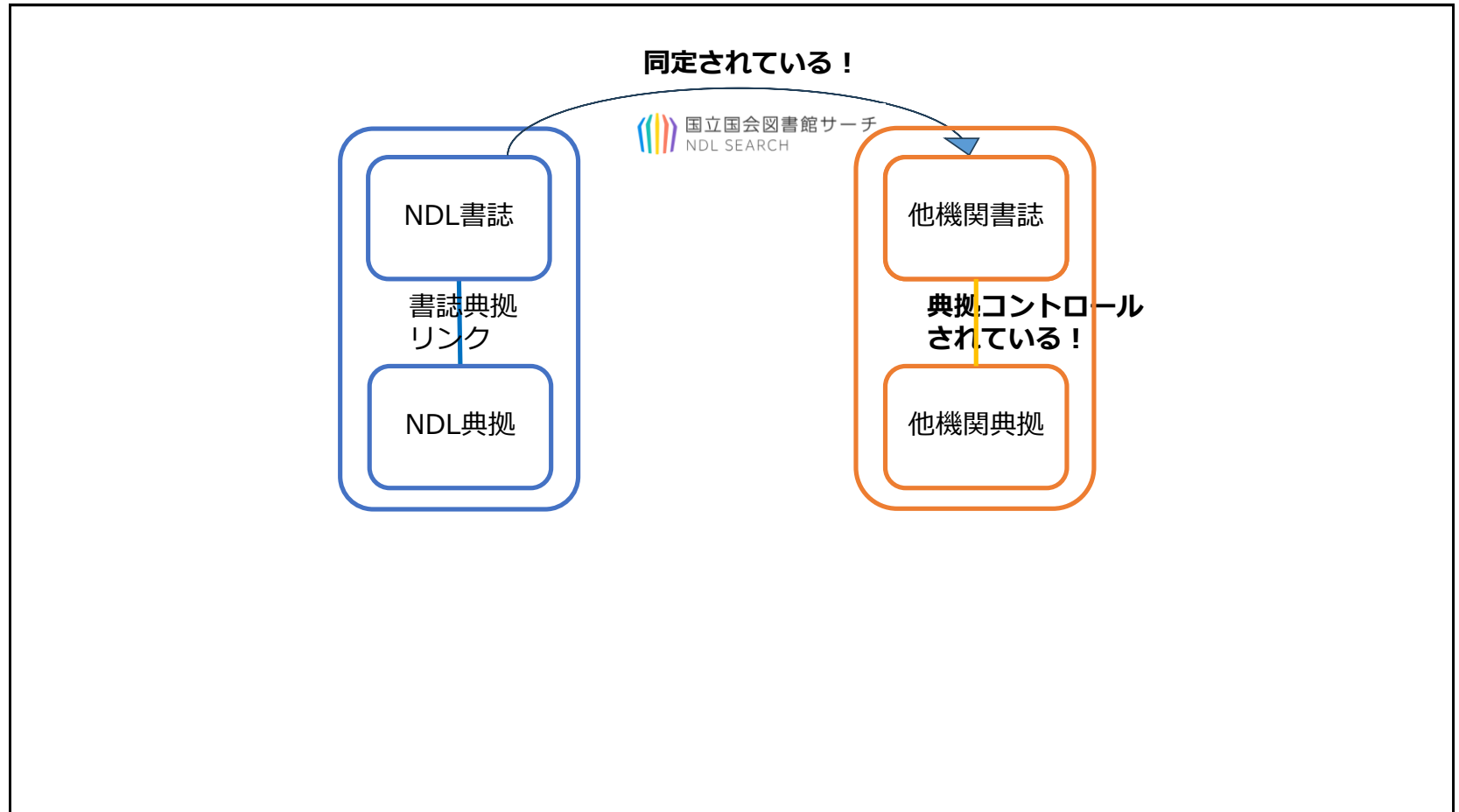


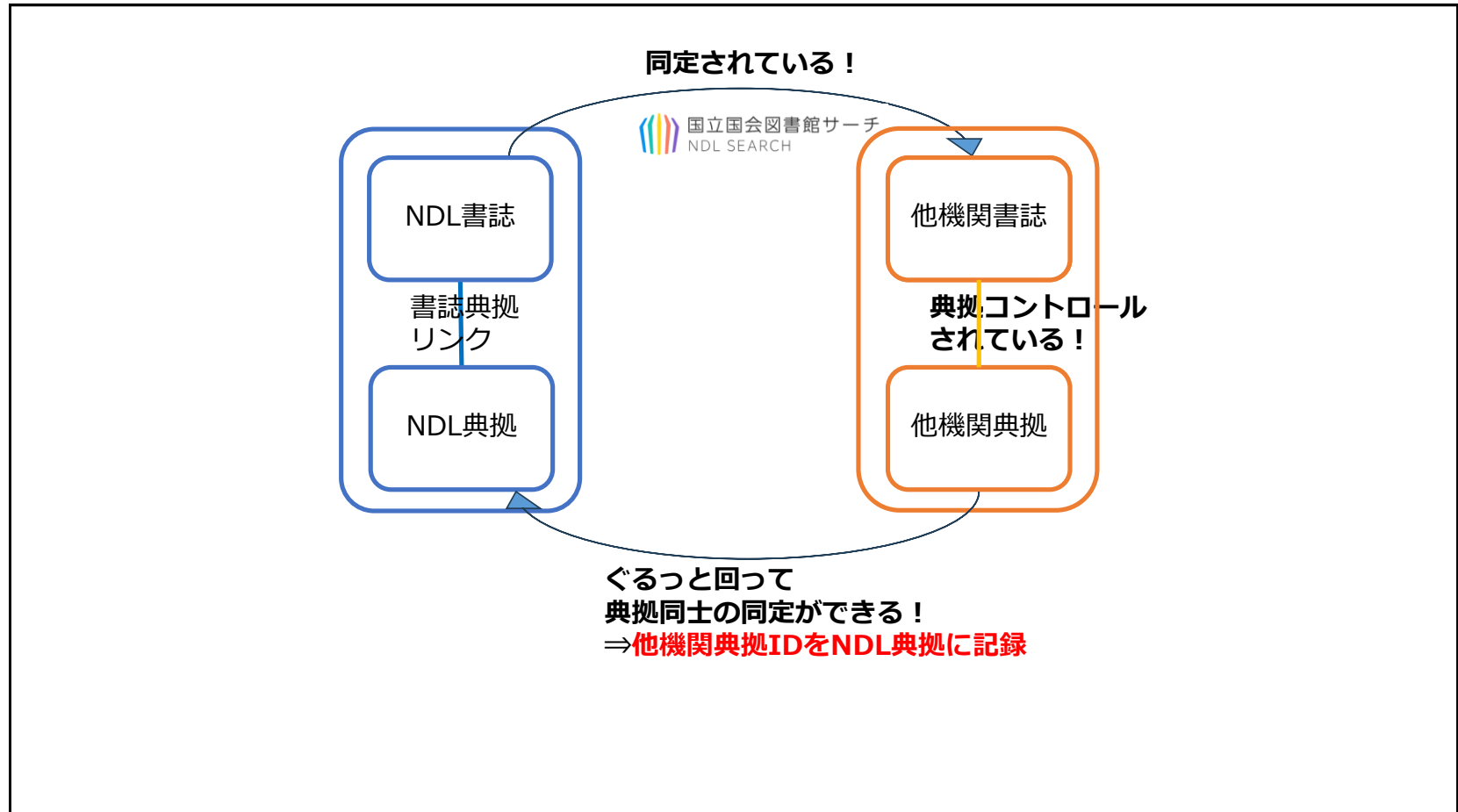
## 2 書誌計画2025からの継続等

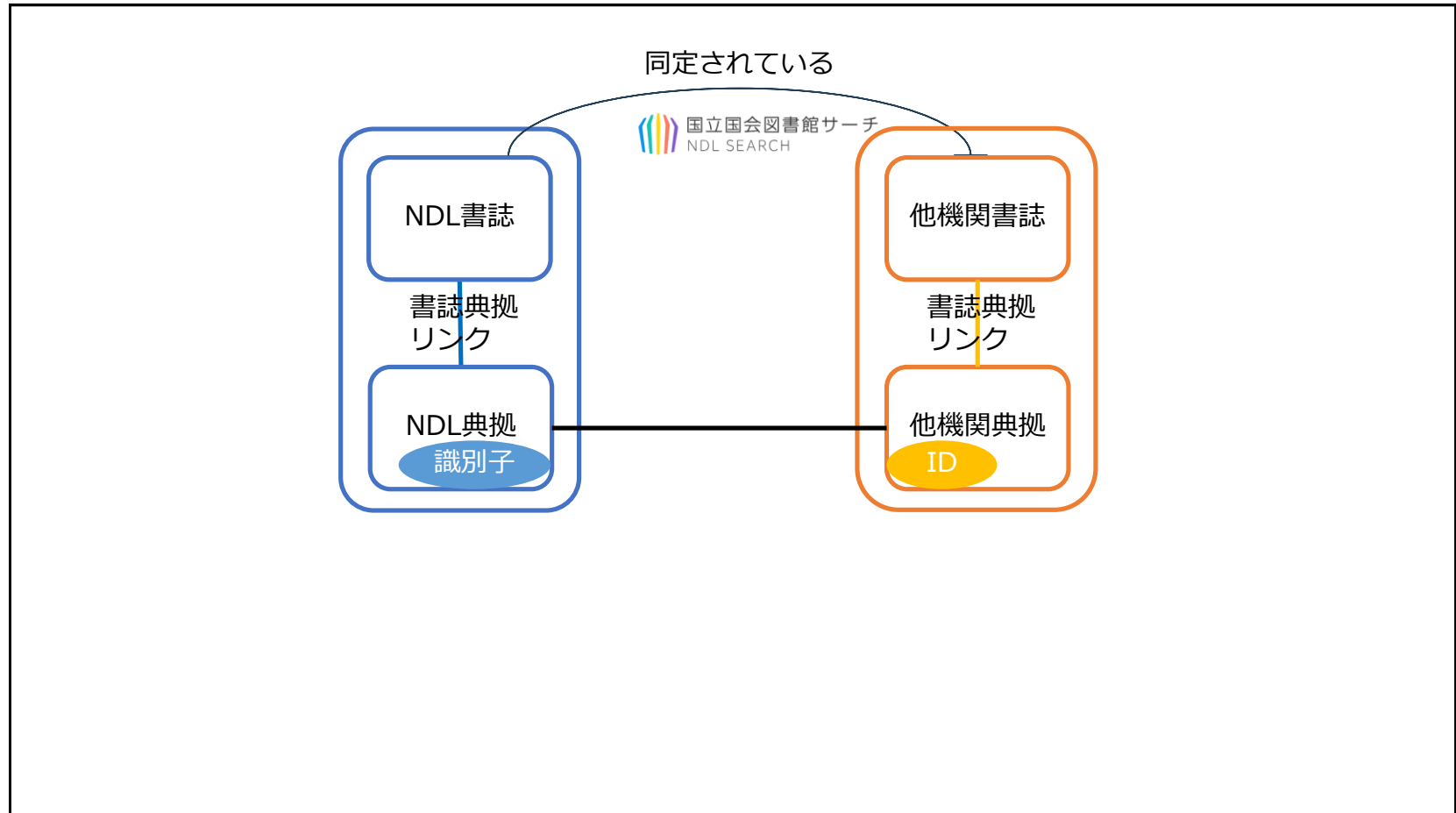
- 識別子の入力拡大  
書誌同定の仕組みを活用し自動的に典拠データに記録  
→ 典拠データの拡充・「関連」等の充実の基盤に

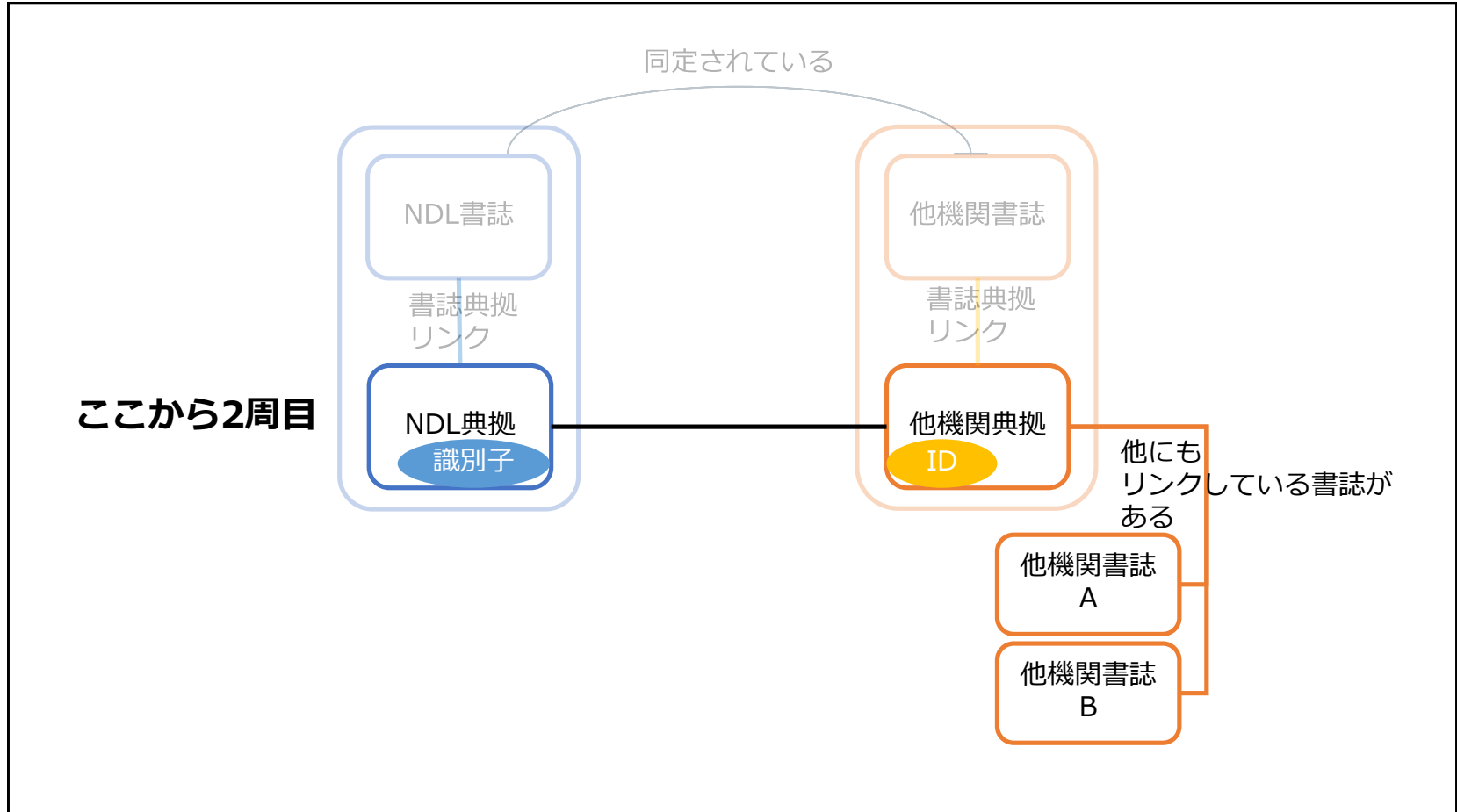
通称「典拠ぐるぐる」

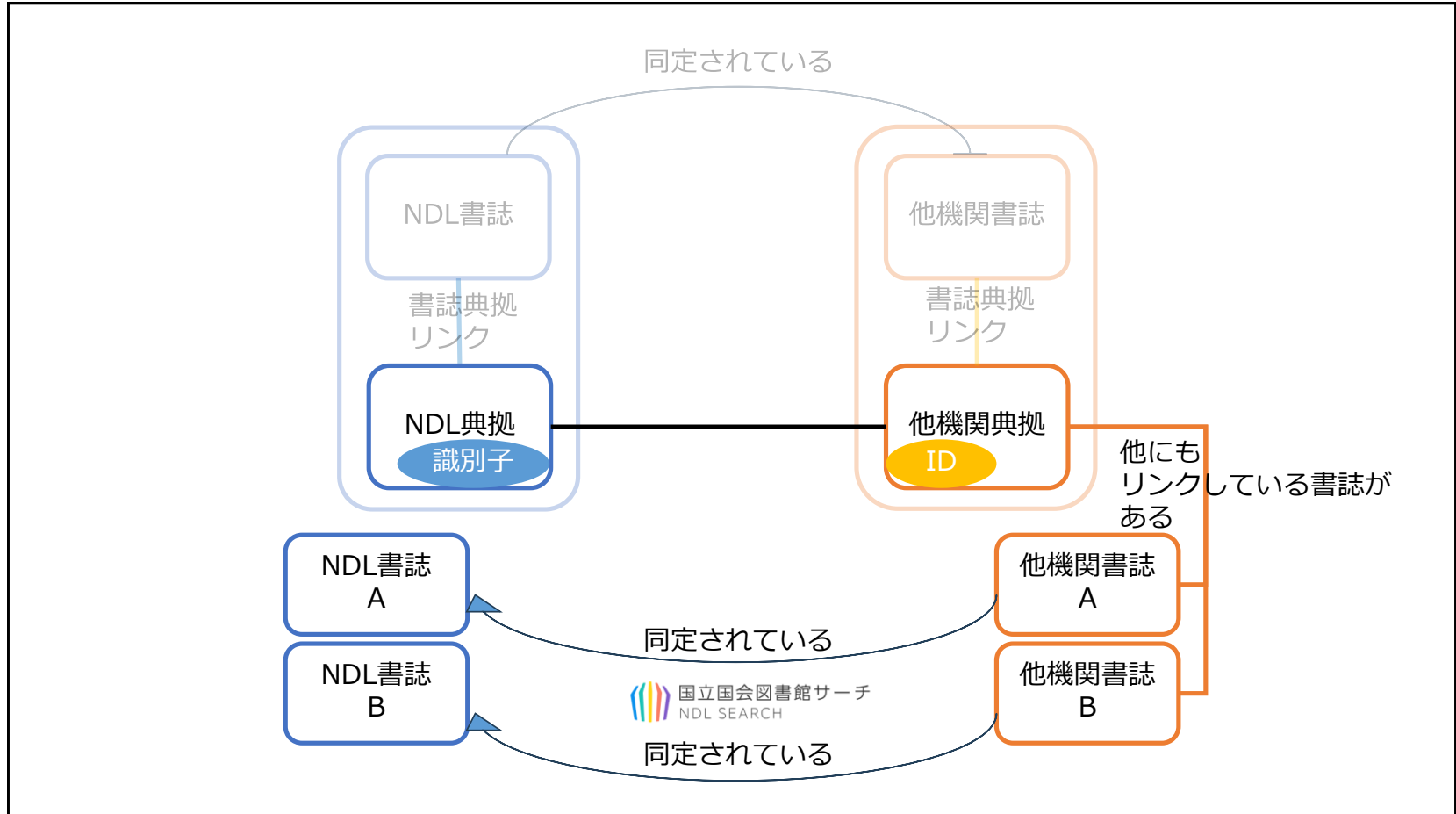


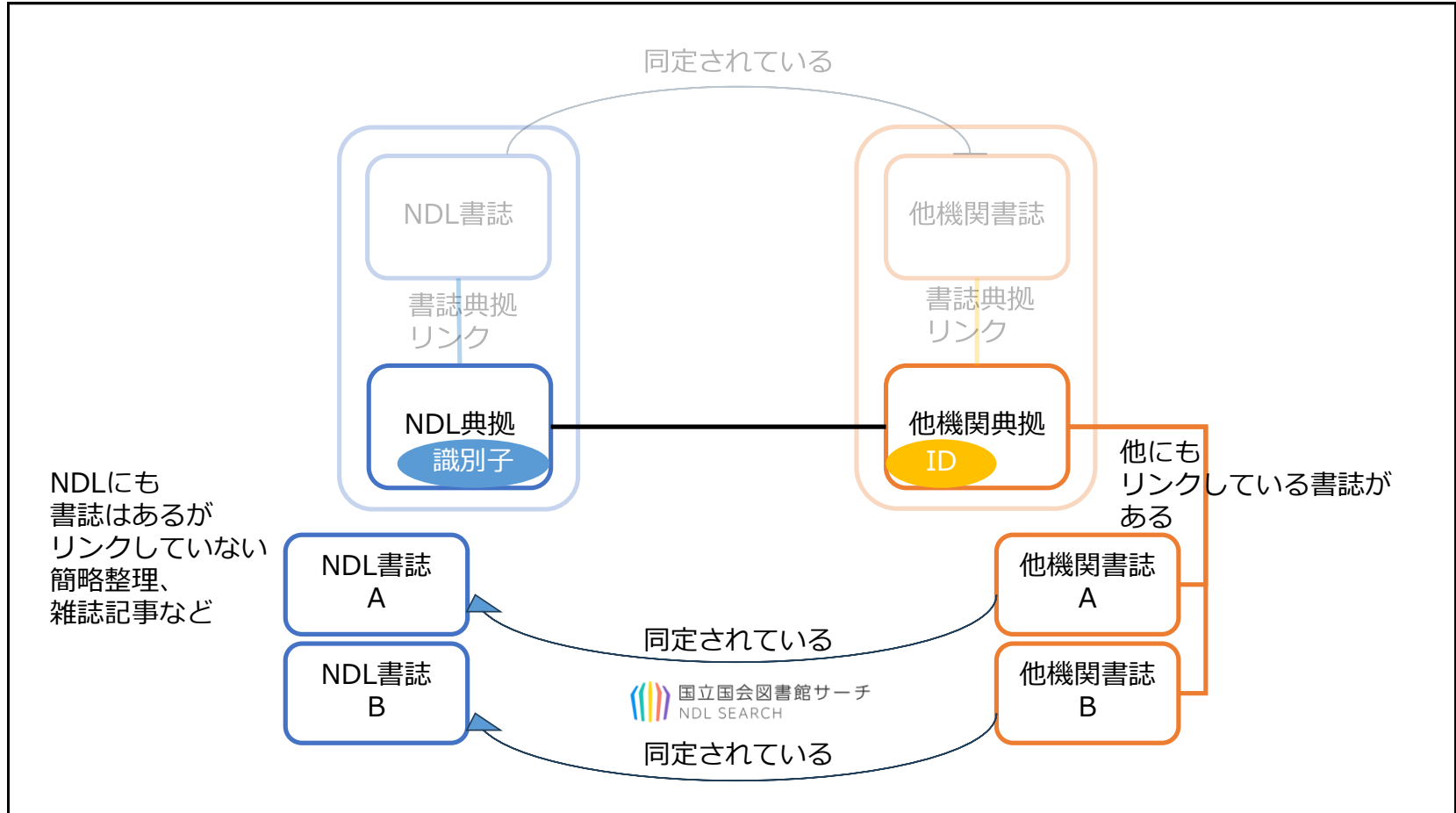


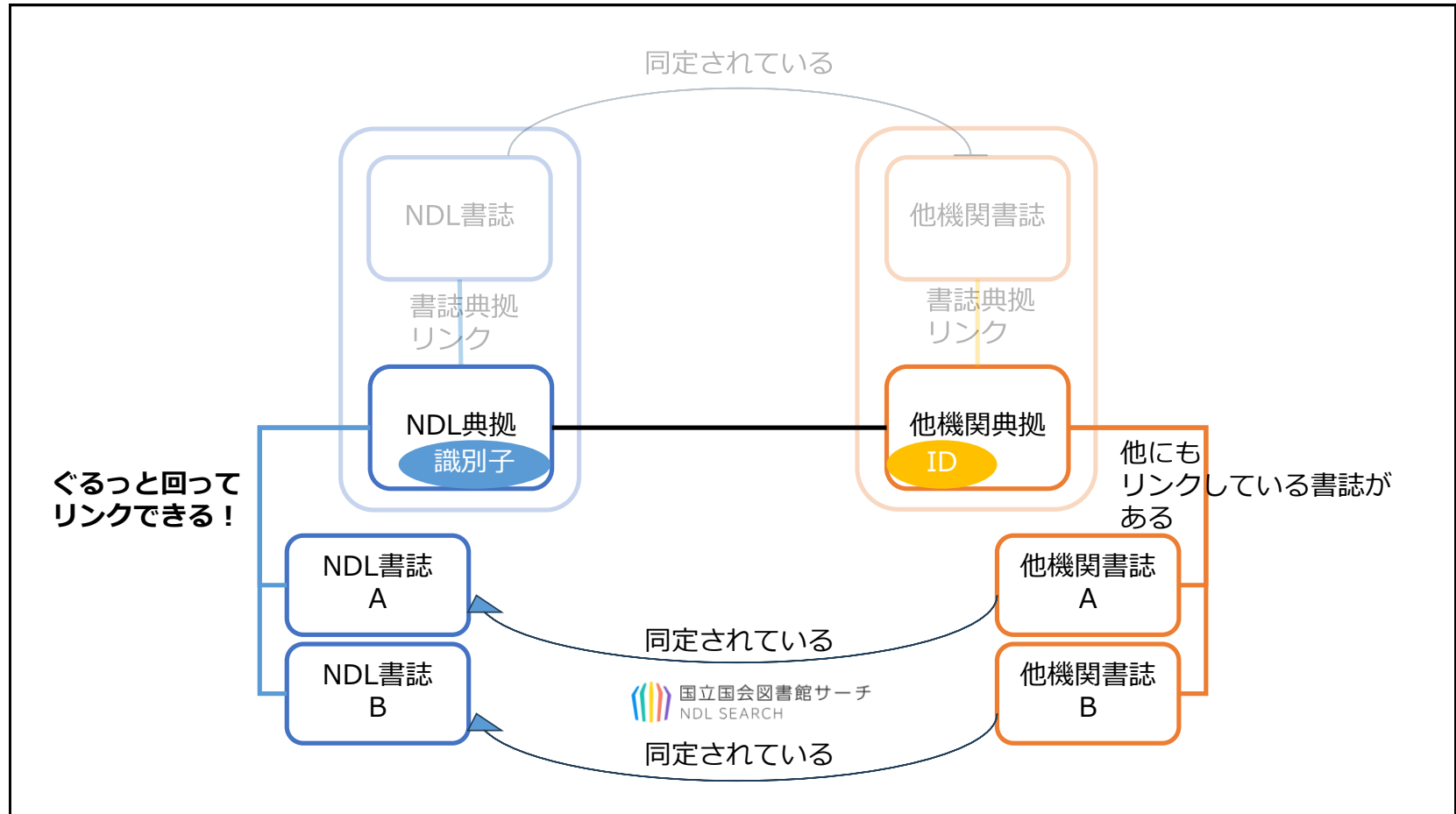


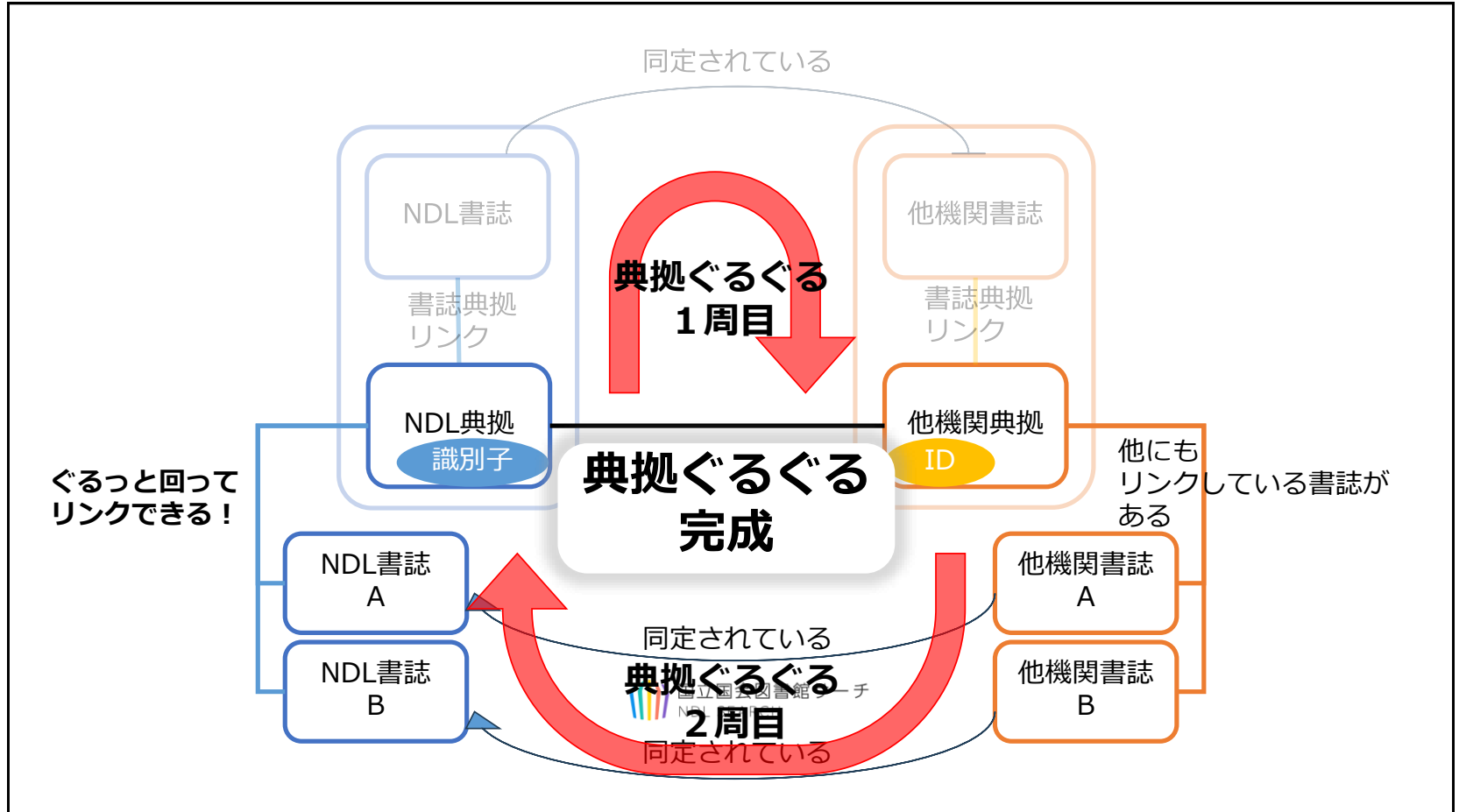










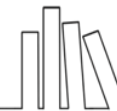


## 2 書誌計画2025からの継続等

- 典拠データの拡充  
「典拠ぐるぐる」  
→ 典拠リンクを行っていなかった資料群に拡大

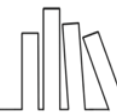
有体資料と無体資料の共通の「著作」典拠

→ 無体資料に典拠リンク



## 2 書誌計画2025からの継続等

- 書誌データの拡充・機能強化
  - 「関連」等の充実
  - 記事・論文の書誌データへのアクセス向上
- メタデータの連携拡大
  - 国内の典拠データの共同提供
  - 書誌調整に関する国際的な動向への対応



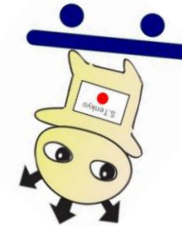
### 3 計画期間に限らない不断の取組

- メタデータ作成の効率化
- メタデータ利活用促進のための情報発信及び人材育成
  - 適切な広報媒体を使用した情報発信や研修等を通じた利活用促進
  - 職員向け研修の実施



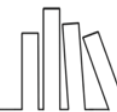
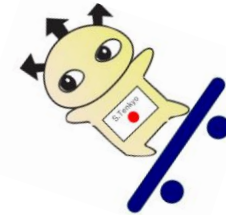
## 4 その他

- 計画期間中も**必要に応じて見直し**を行う。
- 計画策定時には想定していなかった重要な課題にも、対応するよう努める。※**優先順位の見直し**が必要になる



## 主な課題

- 拡張された全国書誌の提供方法  
拡張部分をどう収録し提供するか
- 書誌調整の一元化  
有体資料と無体資料の差をどのように埋めていくか
- 業務フローや体制の再構築



# 関連して

## 令和6年度 サービス実績

国立国会図書館では、各種サービスの所要時間を「サービス実績」として測定しています。  
令和6年度の測定結果は以下のとおりです。測定期間の処理件数のうち、8割以上を、この日数内に提供しました。

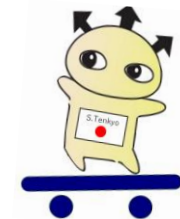
### ■ 資料の整理

サービス項目		日数
国内で発行された資料の整理 *	資料の受入れから書誌データ校了まで	図書 受入日から21日
		非図書（録音・映像資料） 受入日から15日

\* 国内刊行欧文資料は除く。

### ■ 雑誌記事索引

サービス項目		日数
雑誌記事索引	資料の受入れから書誌データ校了まで	受入日から15日



### NDLホームページ

ホーム > 国立国会図書館について  
> 活動実績評価 > サービス実績

## 書誌データ作成・提供の「評価」

- NDLの書誌データの「強み」  
網羅性、信頼性、詳細性、迅速性、利便性・・・  
全てを同時に満たすことは難しい
- 書誌データ作成に要する時間（日数）をサービス実績として公表
- アンケート結果からは、NDLに期待することとして  
「無償で使えること」や「品質」

書誌計画2030の取組の成果は「日数」のみでは表せない  
これからの「評価」は、どうあるべきか



# 書誌計画2030 策定スケジュール

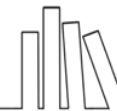
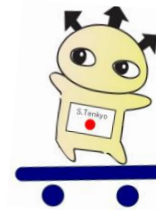
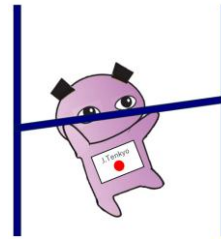
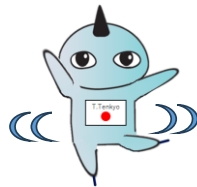
令和6年度	第4四半期	検討開始 ブレインストーミングなど
令和7年度	第1四半期	本格的に検討開始
	第2四半期	収集書誌部内で書誌計画2025の総括、次期書誌計画素案を作成 関係部署に説明、意見募集、素案修正
	10月16日	<b>書誌調整連絡会議</b>
	第3四半期	収集書誌部内で次期書誌計画案を確定 館内意見募集、計画案修正
	第4四半期	NDL館内で決定
令和8年度?		NDLホームページで公開



# おわりに

素案に対するご意見を、お聞かせください  
(書誌データの「評価」についても、ぜひ!)

ぐるぐるがんばる典拠三兄弟



34